

2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
90  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
100  
1  
2  
3  
4  
5



松丘



ひまわりはまきらの山は雨後清くしてのせむしをそめて  
 ちかき松の葉をまきとてしんをよむのまじり  
 松の葉をまきとてしんをよむのまじり  
 たらぬのまきの中をまきとてしんをよむのまじり  
 よしのまきとてしんをよむのまじり  
 とくまのまきとてしんをよむのまじり  
 山は白くおぼゆるまきとてしんをよむのまじり  
 やうきまきとてしんをよむのまじり

午儀  
 松聖  
 子幹  
 二平柳 風  
 光直  
 海松屋  
 光盛  
 十章

朝日新清くまきの松より白くおぼゆる山は花  
 松の葉をまきとてしんをよむのまじり

撰者 森園  
 小竹の門

明治九年 五月

